

# あいさつ運動の好事例

浅口市立金光小学校

(児童数358名 教職員数25名)

## 全校・地域で盛り上げるあいさつ

～ 児童会活動・地域連携 ～

### アピールポイント

- よりよい金光小学校にするために、児童会が本校のキャラクター募集を呼び掛けた。気持ちのよいあいさつができた児童に、そのキャラクターのワッペンを配り、あいさつへの意識を高めた。
- 毎朝、計画委員とあいさつボランティアの児童による「あいさつ運動」を展開している。さらに、地域の方も一緒にあいさつ運動を行い、「あいさつ運動」後には、児童による「おもてなし」を行っている。

### 実際の様子



←地域の方との  
あいさつ運動

児童が考案した金光小学校のキャラクターが描かれたワッペン↓



地域の方への  
おもてなし→



### 取組の概要

#### ■児童生徒の実態

本校では、毎年、児童会が中心となって「あいさつ運動」を行っている。しかし、4月当初は、あいさつの声が小さい傾向にあるという実態があった。そのため、「あいさつ運動」を盛り上げ、気持ちのよいあいさつを意識して続けることにより、「いつでも・どこでも・誰にでも」気持ちのよいあいさつができるということが習慣化されるようになればよいと考えた。

#### ■活動内容

よりよい金光小学校にするために、みんなが好きになるような本校のキャラクターを募集した。金光の名物や、金光小の伝統が盛り込まれたキャラクター（コンコンこんた君）が登場することにより、児童会活動に全校の意識が向くようになった。気持ちのよいあいさつができた人に「こんた君ワッペン」を配り、毎日胸につけて登校するようにした。

毎朝、計画委員とあいさつボランティアの児童が「あいさつ運動」を展開している。さらに、月に1度は、地域の方も一緒にあいさつ運動を行っている。地域の方との「あいさつ運動」後には、6年生児童による「おもてなし」を行っている。児童が校長室へ地域の方を案内し、お茶とお菓子を出して、言葉をかわしたり、学校生活について話をしたりしている。地域の方から、児童の様子などを聞き、学校と地域とが連携して健全な子どもの育成に努めている。

#### ■取組の参加メンバー

全校児童・地域の方・教職員が参加。「あいさつ運動」は児童会が中心となって実施。

#### ■成果・効果

気持ちのよいあいさつができた人に、「こんた君ワッペン」を配ることにより、児童のあいさつへの意識が高まり、気持ちのよいあいさつの声が聞こえるようになった。ワッペンをもらうことにより、自分のあいさつを認められていると感じ、さらに気持ちのよいあいさつをしようとする児童が増えた。

地域の方と一緒に「あいさつ運動」をしたり、登校した時に地域の方とあいさつをすることにより、地域の方に見守られている自分に気付き、あいさつの輪が学校から地域へと広がっている。